



宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.14



かきむきシーズンに向けて準備が進んでいます



今年もまもなくかきむきのシーズンが到来します。石巻保健所では、毎年かき処理関係者を集め、生食用かきを養殖する海域の海水検査やかき処理場の検査、食中毒予防に関する説明会を実施しており、今年も8月21日に開催しました。説明会では、食卓に安全で美味しいかきが並ぶように、各かき処理場の方など42人を対象に生かきの取扱いや衛生管理に関する指導を行いました。また養殖海域の海水検査は8月23日から始まっており、今年も67地点で検査予定です。

昨シーズンは、震災の影響により宮城県産かきの出荷量は約320トンと震災前平均(約4,020トン)の約8%でしたが、今シーズンは生産量約1,200トンを目指しており、管内の各浜でも順次処理場の復旧整備が行われています。



【説明会の様子】

被災者向けの各種調査を行います

◆ 応急仮設住宅健康調査 ◆

石巻市と東松島市、女川町の仮設住宅に入居されている方を対象として、健康に関するアンケート調査を実施します。入居されている方の健康状態の把握や、その結果を参考に必要な支援や対策を考えていくことになります。

お手元にアンケート調査票が届いた際には、ぜひ御協力ください。



石巻市 : 9月後半頃予定(県と合同で実施)
東松島市 : 11月頃予定(県と合同で実施)
女川町 : 町独自で実施予定

◆ 被災者栄養調査 ◆

現在、石巻市内の仮設住宅で行う栄養相談会(ハッピーート大崎実施地区のみ)の参加者を対象に、栄養調査が実施されています。この調査では約80種類の食品等の摂取頻度をお聞きして、最近1ヶ月の栄養摂取状況を確認するものです。

結果は、今後の被災者の栄養改善対策などに活用されるほか、栄養士が協力者へ食事のアドバイスを行う資料として活用していく予定です。対象となった方は、ぜひ御協力ください。



【栄養士による説明の様子】

派遣職員を紹介します

新潟県から来ました 保健師の樋口広美です



新潟県長岡地域振興局より派遣

8月から来年2月末まで、2ヶ月交代で新潟県から4人の保健師が派遣になり、その一人目です。事務所の皆さんから管内の状況を教えていただきながら、成人・高齢班に所属し被災者支援に関する業務についています。行政だけでなく、全国的な専門職団体が活動している様子から復興の勢いを感じています。

私も少しでもお役に立てれば…という想いですのでよろしくをお願いします。



問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所
石巻市東中里1丁目4番32号
◇◇企画総務班 企画調整グループ◇◇
担当:八木田、大崎、佐藤
H P: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>
T e l: 0225-95-1416(代表)
F a x: 0225-94-8982